PART2　返読文字

二 返読文字…語順に関係なく**下から返ってくる**ことが決まっている文字。（左記Ａ・Ｂなど）

Ａ「助動詞」

…助動詞は文末に置く断定「也（なり）」を除いて、用言（主に動詞）の上に置かれ、その用言から返って読む。

① **不**・弗＝ず（**打消**）
② **使**・令・遣・教・俾＝**しム**（**使役**）
③ 為＝たリ（断定）
④ **可**＝**べシ**（可能・当然）
⑤ **見**・被・為・所＝**る**・**らル**（**受身**）
⑥ **如**・若＝**ごとシ**（比況）

＊「ム・タリ（完了）・リ」などは漢字がなく、送り仮名として示す。

Ｂ「それ以外」

① 有（あリ）
② 無（なシ）
③ 勿・毋・莫（なカレ）
④ 多（おほシ）
⑤ 少（すくなシ）
⑥ 易（やすシ）
⑦ 難（かたシ）
⑧ 毎（ごとニ）
⑨ 所（ところ）
⑩ 為（ノためニ）
⑪ 所以（ゆゑん）
⑫ 不レ能（あたハず）
⑬ 雖（トいへどモ）
⑭ 自・由・従（より）
⑮ 与（と）
⑯ 与（より（ハ））

（例）

宋(そう)人(ひと)ニ有耕田者。

〔宋人に　　　　　　　　〕

傍若無人（＝**勝手気ままにふるまう様子。**）

〔傍らに　　　　　　　　〕

多岐亡羊（＝**学問の道が多方面になりすぎると、真理を見失うこと。**）

〔　　　　　　　　　　　〕

問三　次の文は「甸人(でんじん)をして麦を献ぜしむ」と読む。これに従って、返り点と送り仮名を書け。

使 甸 人 献 麦 。

注　甸人…公田の耕作を司る役人。

問四　次の文に訓点（送り仮名と返り点）を施し、記せ。

雪 珠 如 豆 打 茅 茨 。

注　雪珠(せつじゅ)…あられ、みぞれ。
茅茨(ぼうし)…かやぶきの屋根。

〈Memo〉

第４講　PART２　確認問題

①　次の中から、返読文字ではないものを一つ選べ。

ア　有　イ　無　ウ　所　エ　多　オ　者

②　「人方為二刀俎（たうそ）一、我為二魚肉一。」の傍線部の読みとして最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　より　イ　たり　ウ　なる　エ　ごとし　オ　あり

③　「而して范蠡（はんれい）と兵を治め、呉を謀ることを事とす。」となるように返り点をつけたものとして、最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　而与二范蠡一治レ兵、事レ謀レ呉。

イ　而与二范蠡治一レ兵、事レ謀レ呉。

ウ　而与下范蠡治レ兵、事上レ謀レ呉。

エ　而与范蠡治レ兵、事レ謀レ呉。

④ 「令将軍与臣有郤(げき)。」の返り点のつけ方と書き下し文の組み合わせとして最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　令二将　軍　与　臣　有一レ郤。　将軍と臣をして郤有ら令む。

イ　令二将　軍　与　臣　有一レ郤。　将軍をして与に臣の郤有りたり。

ウ　令二将　軍　与レ臣　有一レ郤。　将軍をして臣と郤有らしむ。

エ　令二将　軍　与レ臣　有一レ郤。　将軍をして臣に郤有らしむ。

⑤ 「使二鯀(こん)治一レ之。」の解釈として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　鯀は之を治めようとした。

イ　鯀は之を治めるべきだ。

ウ　鯀に之を治めさせた。

エ　鯀に之を治めよと命じた。

第4講　PART2　解答

二
〔宋人に田を耕す者有り。〕
〔傍らに**人無きがごとし**。〕
〔岐多くして羊を亡ふ。〕

問三　使ム二旬人ヲシテ献ゼレ麦ヲ。

問四　雪珠如クレ豆ノ打ツ二茅茨ヲ一。

第4講　PART2　確認問題　解答

〈解説〉

① 「有」「無」「所」「多」は返読文字である。「者」は返読文字ではない。よって、オが正解。

② 助動詞として用いられている「為」は「たり」と読む返読文字で「～である（断定）」の意を表す。

③ 「与」は「と・より」と読む返読文字で並列（「～と」「いっしょに」）の意味を持つので、「范蠡（はんれい）」の後に読むように返り点がつく。よって、アが正解。

④ 返読文字にはかならず返り点がつく。「令」は「しム」と読む返読文字で使役を表す。また「与」も返読文字で並列（「～と」「いっしょに」）の意味を持つ助詞。どちらも付属語であるので、平仮名で書き下す。よってウが正解。

⑤ 「鯀をして之を治めしむ。」と書き下す。「使」は「しム」と読む返読文字で使役（「～させる」）の意味を持つ助動詞。

〈解答〉

① オ　② イ　③ ア　④ ウ　⑤ ウ